

平成 21 年 5 月 27 日
理事長 橋本 正史

AIFN（国際栄養食品協会）新体制と新戦略について

国際的な健康補助食品*¹の業界団体であるAIFN [The Association of International Foods and Nutrition]（国際栄養食品協会 呼称：アイファン 東京都新宿区）は、5月27日に開催された年次総会において、新たな国際的活動を視野に入れた協会名の変更および新会長の選任を行いました。それに伴い、新たな戦略として「健康経済理論（ヘルスGDP*²）」の提唱と米国業界団体と連携したスタディを推進し、サプリメントの経済的効果の算定を行うことで、より一層のサプリメントの普及活動を推進します。また当協会は健康補助食品*¹（サプリメント等）の統合医療分野への普及促進のため、一般社団法人 日本統合医療学会（理事長：渥美 和彦 東大名誉教授）との協力体制を推進し、医療・介護分野での健康補助食品*¹の普及・啓蒙に寄与します。

1. 新名称：AIFN（国際栄養食品協会） 呼称：アイファン

新会長：NPA（米国自然食品協会）/US CRN（米国栄養評議会）理事

John Venardos（ジョン・ヴェナードス）

なお 理事長 橋本正史および専務理事 末木一夫は留任です。

<新任>

副理事長・法務委員会委員長	林 辰行	（カントックスヘルスサイエンスインターナショナルインク）
副理事長・国際委員会委員長	武田 猛	（株式会社グローバルニュートリショングループ）
副理事長・広報委員会委員長	橋口 智親	（株式会社ホスティックハーブ研究所）

2. 米国業界団体との共同戦略である「健康経済理論（ヘルスGDP*²）」の提唱。

*¹ 本文中の健康補助食品は、特定の用語ではなく、広義的な一般用語として使用しています。

² 「ヘルスGDP」とは、AIFNが提唱する新しい考えで、GDPから医療費の支出など病気による損失を引いたもの。「ヘルスGDP」を高めるためには、医療費等の削減は不可欠で、健康補助食品（サプリメント等）を利用することは病気になりにくくするための大切な手段の一つ。米国においては、サプリメントの利用でどれだけ医療費が削減されるかというルーウェン研究というものが既に行われ、新たな薬事政策理論として世界的に注目されている。

AIFNは、この新しい「健康経済理論（ヘルスGDP）」を通じて国内でのサプリメントの医療費削減に寄与できる経済効果を様々な視点で検証・算定するため、科学委員会を中心に学術的研究プロジェクトを推進してまいります。